

令和5年10月27日（金）（R5第30号）

6年生の選手と共に青葉の森陸上競技場に行ってきました。

先週の予報では雨の確率も高く心配しましたが、良い天気のもと、無事に行うことができました。

なにより、あの広く整った青葉の森陸上競技場で大会を行うことができ本当によかったです。もしも中止になってしまうと、近隣の学校のグラウンドを使って、2~4校が集まり、記録会を行う予定となっていました。それもいいのですが、やはり頑張ってきた子どもたちには、晴れ舞台（＝青葉の森陸上競技場）で各自が磨いてきた技や力を披露してほしいと考えていたので、すばらしい天候のもと実施できたのは幸いでした。

会場には、千葉市の約半数の小学校（55校）から選手が集いました。選手だけでも1000人以上、引率や大会役員の教師、そして観客席にはたくさんの保護者がいました。

グラウンドは、土ではなくタータントラック、そして芝生。いやがうえにも胸は高鳴り、併せて緊張や不安な気持ちが入り混じった言葉では表現できない心情を持った子も多くいたのではないのでしょうか。

松ヶ丘小学校だけでなく、どの学校の選手も、一所懸命に走り、跳び、投げました。走り高跳びでは140cmの高さをクリアする子がいたり、ソフトボールでは70m近く投げる子がいたり、会場の目を釘付けにしました。

自己記録を更新しようと懸命に頑張る子、思ったような成績を上げられずしゅんとする子予想以上に良い記録が出てガッツポーズをする子など様々でしたが、誰もがよく頑張りました。

私は千葉市陸上競技大会には4つの大きな目的があると考えています。

- ① 陸上の技能・技術を高める。
- ② 仲間と切磋琢磨し、自己の記録の向上を目指す。

③ 仲間を応援する心を育てる。

④ 同じ6年生でも高い技能をもった者の存在に気づき、各自の世界を広げることの助けとする。

松ヶ丘小学校の6年生は、この4つの目標に近づくことができたようです。

5・6年生の保護者の皆様におかれましては、朝早くからの練習に参加させるため、また選手の当日のお弁当など様々な面でサポートいただきありがとうございました。